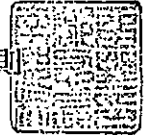


忍 収 第 3698 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

忍野村長 天 野 康 則



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別添のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県 忍野村

道路や橋梁を含め、高度成長期の産物としての永久構造物に対する考えが転換期をむかえていると感じます。一時期のように、補助対象は新設に対する一辺倒なものから、補修・点検を含めた維持管理に対するものにも拡充が必要ではないかと思えます。末端の市町村の窓口担当は、補助金の交付申請から、住民からの要請に伴う道路補修までをします。

田舎は、公共交通網が発達しておらず、自動車が唯一と言えるほどの移動手段でもあります。つまり、道路整備は、必要不可欠です。しかし、前記のような補助対象による道路整備にとらわれすぎていたのでは、全体的に高規格となりすぎることで、一般財源の無駄と感じる箇所も決して少なくありません。都市部・地方部それぞれにあった道路規格に対し、柔軟な発想による補助対象の拡充も望まれます。

また、当村は寒冷地であるため、雪道対策のための対応もお願いしたいです。大雪の年は、除雪は出来ませんが、排雪までは対応出来ない状況です。

これらを踏まえ、当村のように小さい市町村では、短期間での人事異動もありますし、技術専門職員の確保もままなりませんので、国で構築されたノウハウや情報の共用などソフト面での支援も検討いただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

② 一1 地域の現状と抱える課題

山梨県 忍野村

○現状

本村の道路網は一市二村連絡道路である県道山中湖・忍野・富士吉田線を基幹とし、村道及び農林道によってネットワークが形成されています。県道山中湖・忍野・富士吉田線は役場等公共施設、そして山中湖村に通じる道路であり、本村にとっての動脈となっています。

また、道路骨格には多数の村道が連結しており、村民の生活利便性の向上に寄与しています。しかし、村道の舗装率及び改良率は極めて低く、今後も整備を進める必要があります。

○課題

今後は、安全上の向上を図る必要があります。また、観光用道路としての機能も併せ持っていることから、サイン等の設置による利便性の向上や道路脇の美化、あるいは道路緑化の推進により美しい村づくりへの貢献が望まれます。

また、山中湖平野地区へ向かう道路が新設されれば、既存の県道山中湖・忍野・富士吉田線とあいまって、村内を縦横断する道路骨格が形成されることが期待出来ます。

村道の整備には莫大な財源を伴うものであり、整備を図るべき道路の見極めが必要であると言えます。また、県道の新設や宅地化の進展等により村内の状況も変化すると予想されることから、これらの状況変化に応じた村道の舗装・改良や新設を検討することが必要な上、さかな公園や二十曲峠等における施設整備に併せたアクセス道路の整備・新設等も検討をしなければなりません。

② 一2 地域の目指すべき将来像

山梨県忍野村

前記のとおり、地方部にとって道路整備は必要不可欠なものです。しかし、道路整備には莫大な費用がかかるのもまた事実です。これらのことから、道路整備に関しては、より効率・効果的な整備が望まれます。

新設・改良も必要ですが、維持補修に対する補助対象の拡充などにより、地域住民が、より快適で安心出来る生活をおくるために、これからの道路に対しては、アクセス面だけでなく、環境・防災の面での効果も期待するものです。部分的には、あえて、未舗装にしたり、幅員のせまい道路(いわゆる「昔の田舎の道」)の整備も必要になるかもしれません。

道路(橋梁)整備基本計画を策定することにより、効率的に改良・補修計画を立て、財源の無駄使いをなくすできだと考えます。

また、当村は観光地でもあるため、案内サインの設置、道路脇の美化・緑化により、地域住民の快適性と併せ、集客効果も期待するところです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山梨県 忍野村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・道路(橋梁)整備基本計画の策定	・村内の状況を十分に把握し、今後の村道(橋梁)整備の基本となる道路整備基本計画の策定を図ります。	・道路(橋梁)整備計画を策定し、一元的に管理・運営することにより、効率的なサイクルでの改良・補修計画を立てられるようになります。	
・村道・農道・林道の整備推進	・道路(橋梁)整備基本計画等に基づき、施設整備に伴うアクセス道路を含む村内道路の整備を推進します。	・限られた財源を有効に活用し、地方部には不可欠な道路(橋梁)の整備を行うことにより、宅地等の財産価値の向上にも寄与します。	
・利便性・快適性・安全性の向上	・案内サインの設置、道路脇の美化あるいは道路緑化の推進、歩車道分離、信号の設置等により、道路の利便性・快適性・安全性の向上を図ります。	・案内サインの設置、道路脇の美化・緑化により、地域住民の快適性と併せ、観光地としての集客効果も期待出来ます。	
・新設及び拡幅用地の確保	・村民に対して協力を呼びかけることにより、道路新設及び拡幅用地の確保を図ります。	・公共物である道路の用地の確保を村民に協力願うことにより、道路を大切にする気持ちが芽生えます。	
・雪道対策の推進	・冬期の残雪による凍結の歩行者及び自動車への危険性が指摘されていることから、これへの対応を継続します。	・寒冷地である当村では、歩行者等の安全確保と併せ、排雪に対する対策が望まれます。	